



私たちが栃木県の壬生で生活したのは、  
一年足らずの間のことでした：『宇野千代「私の文学的回想記」』

生誕百年記念  
**北原武夫と宇野千代**  
華麗なる文学の同伴者

2009年2月14日(土)ー3月22日(日)  
壬生町歴史民俗資料館

昭和14年4月1日、北原武夫(32歳)、宇野千代(42歳)帝国ホテルで挙式

©オフィス宇野千代

主な  
内容

- 平成20年度上半期町の財政状況報告 ……2~3
- 国保だより ……4~5
- 第4期「壬生町高齢者保健福祉計画(案)」  
壬生町建築物耐震改修促進計画(案) に対して  
ご意見をお聞かせください ……12~14

歴史民俗資料館では、北原慧子氏・  
オフィス宇野千代の協力で壬生ゆか  
りの作家、北原武夫の全貌を紹介し  
ます。  
詳しくは次号でお知らせいたします。

# 平成20年度上半期

# 町の財政状況報告

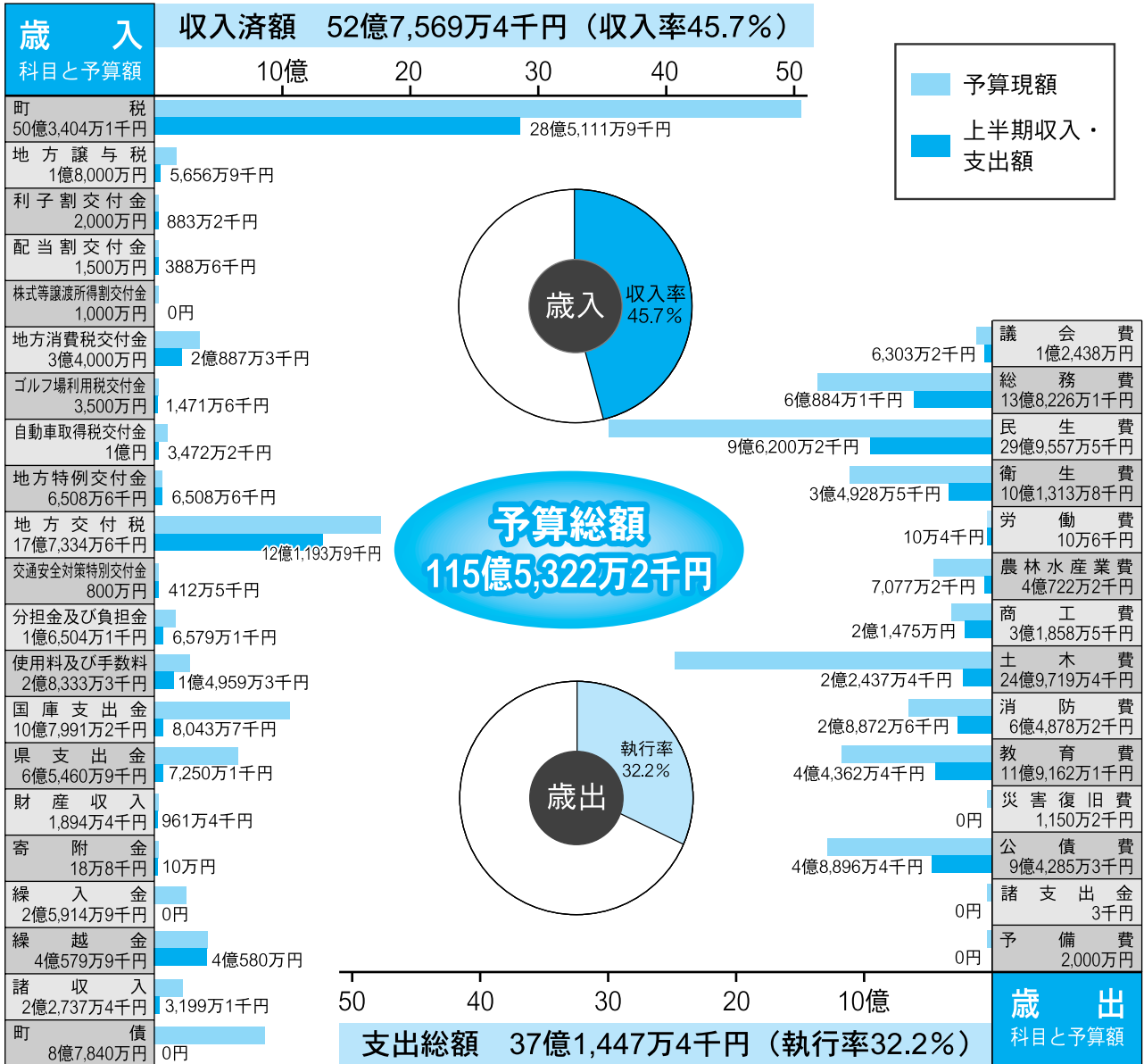
(平成20年9月30日現在)

町では、皆さんに町の財政状況を正しく理解していただくとともに、納められた税金や国・県支出金がどのように使われているかを知っていただくため、財政状況の公表に関する条例に基づき、年2回（広報壬生6月・12月号）財政状況を公表しています。今回は、平成20年度上半期（平成20年4月1日から9月30日）の収入と支出の状況等についてお知らせします。

平成20年度一般会計当初予算額は112億8千万円でしたが、その後1回の補正を行い、9月30日現在の予算額は115億5,322万2千円となりました。また特別会計についても、国民健康保険、老人保健事業、介護保険事業、農業集落排水事業、後期高齢者医療でそれぞれ1回の補正を行っています。



## 一般会計



# 特別会計

国民健康保険	
予算額	43億429万7千円
収入済額	16億8,009万7千円 39.0%
支出済額	17億6,807万1千円 41.1%

公共下水道事業	
予算額	20億3,478万円
収入済額	5億2,318万5千円 25.7%
支出済額	8億8,995万9千円 43.7%

奨学資金特別会計	
予算額	161万3千円
収入済額	125万3千円 77.7%
支出済額	69万8千円 43.3%

老人保健事業特別会計	
予算額	3億6,506万2千円
収入済額	3億1,422万3千円 86.1%
支出済額	2億5,664万6千円 70.3%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

介護保険事業特別会計	
予算額	17億2,032万円
収入済額	6億5,516万6千円 38.1%
支出済額	6億6,861万5千円 38.9%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

農業集落排水事業特別会計	
予算額	7億8,969万5千円
収入済額	2,066万1千円 2.6%
支出済額	2億4,307万1千円 30.8%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

後期高齢者医療特別会計	
予算額	3億197万9千円
収入済額	9,329万8千円 30.9%
支出済額	9,594万9千円 31.8%

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

## 水道事業会計

※資本的収支の収入額が支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

収益的収支		資本的収支	
収入予算額	5億7,901万3千円	収入予算額	2億6,532万円
収入済額	1億9,948万1千円	収入済額	0円
支出予算額	4億7,635万6千円	支出予算額	5億4,917万円
支出済額	1億1,192万2千円	支出済額	1億5,276万6千円

## 町税の内訳

	予算現額	収入済額
町民税	23億5,546万4千円	9億8,546万3千円
固定資産税	21億3,497万3千円	15億3,580万9千円
軽自動車税	5,695万9千円	5,446万1千円
町たばこ税	2億1,160万円	1億1,472万円
都市計画税	2億7,504万5千円	1億6,066万6千円
合計	50億3,404万1千円	28億5,111万9千円

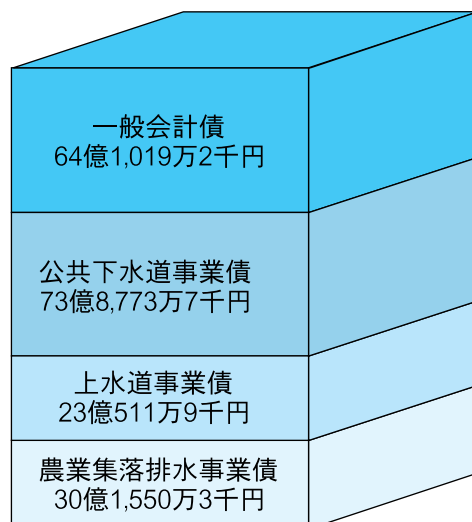
## 税の負担状況

(単位：円)

	町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税	都市計画税
	985,463	1,535,809	54,461	114,720	160,666
一人当たり 71,771円	24,807	38,661	1,371	2,888	4,044
1世帯当たり 201,792円	69,748	108,699	3,855	8,119	11,371

(平成20年9月30日現在 人口：39,725人／世帯数：14,129世帯)

## 地方債現在高





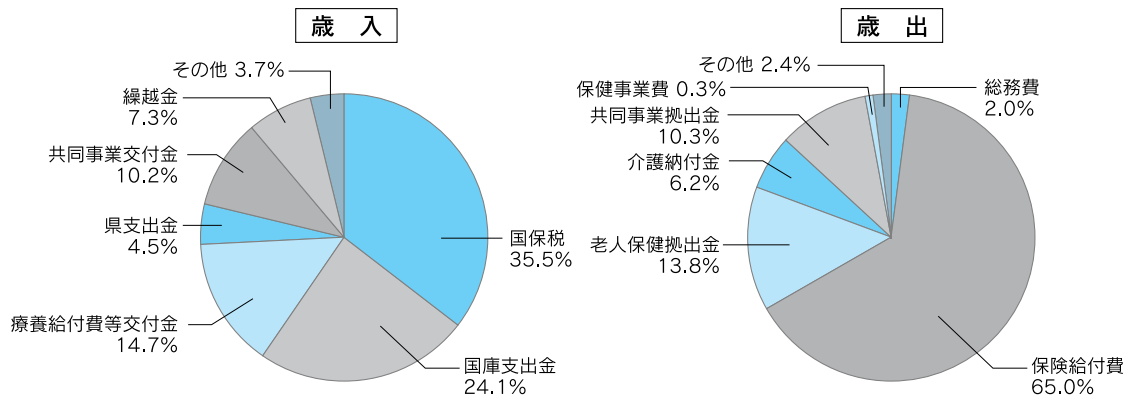
# 国保だより



国民健康保険制度は、相互扶助の目的のもとに発足し、今日では、  
欠くことのできない医療保険制度の一つです。

今回は、本町の国民健康保険の財政状況をお知らせいたします。

## 平成19年度壬生町国民健康保険特別会計の財政状況



	平成19年度決算額	対前年度比
歳入	4,296,493千円	104.4%
歳出	4,208,651千円	104.7%

	被保険者数	対前年度比	世帯数	対前年度比
加入状況	15,512人	98.7%	7,375世帯	100.4%

	一人当たり	対前年度比	一世帯当たり	対前年度比
保険税負担額	104,738円	102.0%	219,694円	100.2%
保険給付費	229,572円	103.7%	482,864円	101.8%

### 歳入・歳出の主な内容

#### 歳入

- 国保税……………皆様が負担する保険料
- 国庫支出金……………国が負担する療養給付費等
- 療養給付費等交付金…退職被保険者に対する交付金
- 県支出金……………県が負担する療養給付費等
- 共同事業交付金…国保連が交付する安定化調整交付金等
- 繰入金……………一般会計からの職員給与費・保険基盤安定繰入金等

#### 歳出

- 総務費……………職員給与費・レセプト点検費等
- 保険給付費……………一般療養費・高額療養費・出産育児一時金・葬祭費等
- 老人保健給付費…老人保健医療費拠出金
- 介護納付金……………第2号被保険者の介護納付金
- 共同事業拠出金…国保連への高額療養費共同事業拠出金
- 保健事業費……………人間ドック・脳ドック負担金等

## 平成20年度壬生町国民健康保険事業

### 『健康に関する講演会』 のお知らせ



『健康に関する講演会』を下記のとおり開催いたします。

○日 時：平成21年2月19日（木） 午後2時～

○場 所：壬生町保健福祉センター

○講 師：毒蝮 三太夫 氏

○入 場：無料

※詳細については、1月下旬頃にパンフレットを配布予定しています。

### 国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の納付額証明等について

**確**定申告をされる場合、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書は、社会保険料控除の控除額を確認するための大切な資料となりますので、紛失しないようにしてください。

**□**座振替で納付されている方は、1月下旬に控除の証明となる口座振替済通知書を送付する予定です。また、口座振替で一括納付された方は、本年8月末に送付しております。領収書等を紛失された場合は、納付額証明書を発行いたしますので、運転免許証等の本人確認ができる書類をお持ちのうえ、町税務課収税係までお越しください。

**ま**た、年金から国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料を天引きされている方については、社会保険庁より送付される年金の源泉徴収票の社会保険料の欄に納付額が記載されていますので、参照してください。

（源泉徴収票は、確定申告等で必要となりますので紛失しないようにしてください。）



# 各分野で多くの方々・団体が表彰

壬生町の町民の方々、団体の多大な功績や活躍が認められ、多方面の分野で表彰されました。



受賞者の方々

## 町発展への功績をたたえ自治功労者を表彰

永年にわたり、町政の発展、福祉の増進等で多大な功績を残された方々をたたえる、自治功労者の表彰式が11月4日、役場正庁で行われました。今年、功労賞を8名の方々が受賞されました。

### 受賞者の方々

(敬称略)(50音順)

#### ●功労賞

- 8年以上町議会議員の職にあった方  
江田 敬吉
- 15年以上福祉委員の職にあった方  
中川 和江
- 20年以上国又は県からの委嘱による非常勤の特別職にあつて功績があつたと認められる方  
荒川 留行
- 前後職を異にし通算により対象となる方  
齊田 晃男  
高木 信夫  
中嶋 正  
根本 信子
- 20年以上町職員として勤務し、成績優れた功績があつたと認められる年齢50歳以上の方  
萬年 和子

平成20年度

明るい選挙啓発  
ポスターコンクール

県審査(第二次審査)で  
11名が入賞

明るい選挙の啓発運動の一助とするため、全国の児童生徒のみなさんを対象とした「第60回 明るい選挙啓発ポスターコンクール」が行われました。

県内では、小・中・高生から総数2,536点の作品が寄せられ、第一次審査(市町単位)を通過した、620点が第二次審査(県)に出品されました。本町においても、127点にのぼる作品の応募があり、その中から優秀作品として、第二次審査推薦作品20点を出品し、その結果、本町では、入選に6点、佳作に5点、合計11点選ばれました。

また、下都賀郡町村選挙管理委員会連合会入選作品5点も選ばれました。

審査結果は、次のとおりです。

### 第二次審査(県)

#### ◆入選

佐藤美帆奈 (壬生小6年)  
森田有加里 (壬生北小5年)

税を知る週間

(11月7日～14日)

納税の推進に関する  
ポスター標語を展示

町では、町内の小・中学校から募集しました納税ポスター標語を、「税を知る週間」(11月7日～14日)に合わせて、役場町民生活課窓口前の町民ホールに展示しました。

これは、次代を担う児童・生徒が夏休み期間中に「納税に関するポスター標語」を作成することにより、家族みんなで税について考え、税についてより関心と理解を深めていただくよう、町内の小学6年生と中学2年生を対象に毎年実施しています。今年も総数548点の作品が応募され、最優秀賞2点、優秀賞10点及び佳作28点を表彰、その中から最優秀賞及び優秀賞12点を展示したものです。



最優秀賞 青木 夕奈 (睦小6年)



最優秀賞 齋藤わかば (南犬飼中2年)

小学生の部

◆最優秀賞

青木 夕奈 (睦小6年)

◆優秀賞

佐藤美帆奈 (壬生小6年)  
茂田井彩香 (壬生小6年)  
尾津 帆南 (壬生東小6年)  
横倉 将人 (壬生東小6年)  
川又 彩加 (稲葉小6年)

中学生の部

◆最優秀賞

齋藤わかば (南犬飼中2年)

◆優秀賞

川俣 明穂 (壬生中2年)  
谷黒 瑞希 (壬生中2年)  
橋本 優美 (壬生中2年)  
大関 康恵 (南犬飼中2年)  
寒河江さかえかおり (南犬飼中2年)

また、栃木税務署等で募集しました中学生の標語は、町内から529点の作品が寄せられ、優秀作品7点がそれぞれ入賞、同じく展示されました。

栃木税務署長賞

「納税で 輝く未来と 優しい社会」

桜井 利沙 (壬生中3年)

「税金で 育む僕らの 豊かな未来」

荒川 佳葉 (南犬飼中3年)

租税教育推進協議会長賞

「納税は 夢と希望の 貯金箱」

坂元 彩 (南犬飼中2年)

栃木県税事務所長賞

「その税が あなたの未来を 救ってる」

玉真たまま 里紗 (壬生中3年)

「納税で 広がる未来 笑顔の輪」

松本 茉那 (南犬飼中3年)

壬生町長賞

「見直そう 税の重みと 大切さ」

稲葉 千遥 (壬生中3年)

「納税は 明るい未来を 開くかぎ」

寶ほうしど戸 温のどか (南犬飼中2年)

第一次審査(町)

- ◆佳作
- 鈴木 春香 (壬生小3年)
  - 黒子 奈保 (壬生中3年)
  - 伊藤 愛莉 (南犬飼中2年)
  - 金子 七瀬 (南犬飼中2年)
  - 齊藤 夢華 (南犬飼中2年)
  - 五月女悠紀 (壬生中2年)
  - 阿久津久美 (壬生中3年)
  - 佐々木芽めい惟 (壬生中3年)
  - 田辺 成美 (壬生中3年)

◆入選

- 飯野 航平 (壬生東小4年)
- 大島広太郎 (壬生東小5年)
- 尾津 帆南 (壬生東小6年)
- 高橋 伽音かみね (壬生東小6年)
- 川又 彩加 (稲葉小6年)
- 落合 真子 (安塚小3年)
- 糸川 航輝 (安塚小5年)
- 稲葉 千遥 (壬生中3年)
- 大関 康恵 (南犬飼中2年)

下都賀郡町村  
選挙管理委員会連合会

◆入選

- 小林 未奈 (睦小4年)
- 武藤 早紀かすみ (壬生東小5年)
- 矢口 夏好 (壬生中1年)
- 糸川 遥 (壬生中3年)
- 白井 里花 (南犬飼中1年)

## 全国社会福祉協議会会長表彰を受賞

民生委員児童委員の人見イハさんが、日比谷公会堂で11月7日に開催された平成20年度社会福祉大会にて、全国社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。



人見さんと清水町長

今回の受賞は、人見さんが、22年の長きに亘り民生委員児童委員として地域福祉の向上に尽力され、その功績が認められたものです。



## 栃木県民生委員児童委員大会開催

### 4名が協議会会長表彰を受賞

11月11日、第18回栃木県民生委員児童委員大会が「広げよう 地域に根ざした 思いやり」をスローガンに、県内各地に活躍する民生委員・児童委員、関係者が一同に会し、新たな活動強化方策に基づいて、今後の活動強化推進を目指すことを目的に宇都宮市文化会館で開催されました。

その席上、長年、民生委員・

児童委員として地域福祉の向上に尽力されたことにより次の方が表彰を受けられました。  
栃木県民生委員児童委員協議会  
会長表彰

民生委員・児童委員

- 福田 弘子さん
- 渡邊眞夕美さん
- 大塚 孝さん
- 田中 正博さん



左から福田さん、田中さん、渡邊さん

## 各種統計調査の発展・推進に貢献

11月19日、栃木県総合文化センターにおいて第46回栃木県統計大会が開催され、戸崎光三さんが総務大臣賞・玉田洋子さんが栃木県知事表彰・宇賀神二三子さんが厚生労働省大臣官房統計情報部長表彰・橋本淑子さんと増山恭子さんが栃木県統計協会の名誉会長表彰を受賞されました。

また、経済産業省所管統計調査（工業統計調査・商業統計調査）に永年貢献されたとして、桑川博子さん・藤沢百々代さんが、経済産業省経済産業政策局調査統計部長から感謝状が交付されました。

11月20日に役場町長室において伝達式が行われ、清水町長よりお二人に手渡されました。

それぞれ多年にわたり各種統計調査に従事され、統計調査の発展・推進に多大なる貢献をされています。



左から増山さん、橋本さん、玉田さん、宇賀神さん、戸崎さん



左から藤沢さん、桑川さん、清水町長





## 第31回栃木県歯科保健賞受賞

壬生東小学校

11月21日、壬生東小学校が、県内において歯科保健衛生の分野で優れた業績を挙げた団体、または、個人の功績に対し贈られる、栃木県歯科保健賞の受賞の報告に町教育委員会を訪れました。

壬生東小学校では「心づくり・頭づくり・体づくり」を教育活動の柱に推進しており、その「体づくり」の一環で健康教育に力を入れています。一環で健康教育に力を入れています。一環で健康教育に力を入れています。



## 栃木県農業担い手躍進大会 認定農業者の部で優良賞を受賞

認定農業者の佐藤健一さん（鹿島が、11月25日に宇都宮市文化会館で開催された栃木県農業担い手躍進大会において、認定農業者の部で優良賞を受賞されました。

この表彰事業は、栃木県担い手育成総合支援協議会が主催し、自らの経営改善計画の達成を目指すとともに、地域農業の活性化に貢献している意欲と能力のある担い手の優良事例を表彰するものです。佐藤さんは、いちごの規模拡大を図りながら、高い技術力で高収量を確保していること、また、営農集団の一員として二条大麦を作付けし、農地の集積を実践していることが評価されました。

## 「防犯パトロール隊」に警察署長の感謝状

安塚中央自治会

安塚中央自治会（安生勝英会長）では、4年前から自治会の班長・行政班長・役員で毎年「自治会防犯パトロール隊」を結成し、安全・安心な町づくりに貢献しています。

隊員は総勢48名で、自転車の前カゴに「防犯パトロール中」のワッペンを付け、常時買い物の際に注意をしながらパトロールし、不審者の撃退に活動しています。

また、夏休みには夜8時から数人ずつ班を編成し、自治会の中心地にある安塚小学校の構内を隅々まで巡回し、花火をする者や不審者の侵入防止に努力してきました。

今回はこれらの活動が認められ、11月5日に「自治会防犯パトロール隊」に対し、大野繁栃木警察署長から感謝状と盾が贈呈されました。

隊員の皆さんは、これを励みに今後も頑張りたいと張り切っています。



## 壬生町が交通死亡事故ゼロで 表彰を受ける

11月12日、栃木県総合文化センターで開催された、第42回栃木県交通安全県民大会において、壬生町が交通死亡事故ゼロ市町として栃木県交通安全対策協議会長（栃木県知事）表彰を受賞しました。

この表彰は、平成19年10月から平成20年9月末までの1年間で、交通死亡事故ゼロを継続した市町に贈られるものです。

交通安全広報や交通指導の普及活動を行なう、壬生町交通安全協会（平石邦次会長）や壬生町交通安全母の会（野口栄子会長）などの各団体の協力により、町内における交通死亡事故は、昨年の5月末から現在までゼロが続いています。

# 便利で安全！ 身分証明書には住基カードが最適です



顔写真付きの身分証明書をお持ちでない方（運転免許証をお持ちでない方や、高齢等により運転免許証を返納した方など）は、役場窓口での住民票や戸籍謄（抄）本の請求や、銀行等での口座開設や現金振込みの際に本人確認ができないためにご不便が生じております。このような場合『写真付きの住基カード』は身分証明書として公的に認められており、お持ちになると大変便利です。

また住基カードは、公的個人認証サービスの電子証明書を記録するICカードとしても利用されており、e-Taxを始めとした公的個人認証サービスの活躍の場は、今後ますます広がることが予定されています。

壬生町に住民登録のある方であれば、どなたでも役場町民生活課でお取りいただけますので、ぜひご利用ください。

## 住基カードの交付申請については、下記のとおりです。

●受付時間	月曜日～金曜日（祝祭日、12月29日～1月3日を除く）の 午前9時～午後5時 ※手続きに30分ほど時間がかかります。
●受付場所	壬生町役場 民生部 町民生活課
●交付手数料	500円
●カードの有効期限	発行日より10年間
●申請に必要なもの	印鑑

※受付窓口でも写真撮影できますが、ご自身で写真を持参する場合はパスポート用の写真（45cm×3.5cm）で6ヶ月以内に撮影した正面・無帽・無背景のものをご用意ください。

※カードの交付は、本人確認書類（運転免許証・パスポート等官公署が発行した顔写真付き身分証明書）をお持ちの方は、当日交付されます。なお、お申し込み者数によってしばらくお待ちいただく場合や、後日受け取りに来ていただく場合もあります。

※本人確認書類のない方は、ご本人に「照会書」を郵送しますので、必要事項を記入のうえ照会・回答書と健康保険証等を持参していただいでから交付されます。

※原則本人の申請となります。本人以外の方から申請する場合は、申請方法が異なるほか、お受けできない場合もありますので、詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

# 公的個人認証サービスに伴う 電子証明書を発行しています

公的個人認証サービスとは、本人であることを証明する電子証明書を住民基本台帳カード内に記録することにより、インターネットを使った電子申請や届出を行う際に、他人による「なりすまし」や通信途中での申請内容の「改ざん」などを防ぐためのサービスです。

## 申請については、下記のとおりです。

●申請できる方	壬生町に住民登録をしている方（15歳以上）
●申請に必要なもの	○住民基本台帳カード ○本人確認書類（運転免許証・パスポート等官公署が発行した顔写真付き身分証明書） 有効期限切れのもの、住所や氏名が未変更の免許証など申請書の内容と異なるものは本人確認書類として使えません。
●有効期限	発行日より3年間
●手数料	500円
●受付場所	壬生町役場 民生部 町民生活課
●受付時間	月曜日～金曜日（祝祭日、12月29日～1月3日を除く）の 午前9時～午後5時 ※手続きに30分ほど時間がかかります。
●その他	電子証明書を使用するには、インターネットの利用可能なパソコンとICカードリーダライタが必要になります。 代理人が申請する場合は、提出書類等申請方法が異なりますので、詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

◎問合せ先 ●町民生部町民生活課 ☎81-1824

※電子証明書を取得することにより、e-Tax（国税電子申告・納税システム）を利用することができます。  
e-Taxについての詳細は、国税庁のホームページをご覧ください。  
国税庁ホームページアドレス <http://www.e-tax.nta.go.jp>



# 第4期「壬生町高齢者保健福祉計画(案)」—(策定)—

## に対してご意見をお聞かせください

### 1 目的

老人福祉法の規定に基づく老人福祉計画並びに介護保険法の規定に基づく介護保険事業計画策定においては、それらを一体のものとしながら、3年を1期として基本となるべき政策目標に対し見直しを行うことになっています。

このほど、壬生町が行う平成21年度から平成23年度までの3年間における、高齢者に関する「介護保険事業」及び「保健福祉事業」の全般にわたる施策について、「高齢者保健福祉計画」として素案がまとまりましたので、町民の皆様のご意見を募集いたします。

### 2 計画素案の公表方法 (下記の場所でご覧いただけます)

- (1) 町民生部健康福祉課高齢福祉係
  - (2) 公民館 (壬生中央公民館・稲葉地区公民館・南犬飼地区公民館)
  - (3) 壬生町立生涯学習館
  - (4) 壬生町保健福祉センター
  - (5) 壬生町シルバー人材センター
  - (6) 壬生町ホームページ (<http://www.town.mibu.tochigi.jp>)
- (注1) ⑥以外につきましては、執務時間中の閲覧となりますのでご了承ください。

### 3 募集期間

平成20年12月24日(水)から平成21年1月23日(金)まで

### 4 意見の提出方法

パブリック・コメント記入用紙(町ホームページ及び上記公表施設に設置)により、次のいずれかの方法で提出してください。いずれの場合も、宛先は「**壬生町民生部健康福祉課**」宛でお願いいたします。

- (1) **郵送** (〒321-0292壬生町通町12-22)  
または**持参** (土日・祝日・12/27~1/4は除く)
  - (2) **FAX** (81-1121)
  - (3) **電子メール** ([minsei@town.mibu.tochigi.jp](mailto:minsei@town.mibu.tochigi.jp))
- (注2) 電話による受付はいたしませんのでご了承ください。

### 5 意見の取り扱い

提出されましたご意見の概要と、検討結果につきましては、「町広報」及び「町ホームページ」上に公開いたします。

- (注3) ご意見をいただいた方の氏名等の公表、及びご意見に対する個別の回答はいたしません。  
(注4) ご意見の内容が類似する場合は、取りまとめて公表する場合があります。

### 6 問い合わせ及び意見の提出先



〒321-0292 下都賀郡壬生町通町12番22号

壬生町 民生部 健康福祉課

☎81-1830 FAX 82-1121

E-mail ✉[minsei@town.mibu.tochigi.jp](mailto:minsei@town.mibu.tochigi.jp)

# 第4期「壬生町高齢者保健福祉計画(素案)」の概要

## 計画の趣旨

介護保険制度は、高齢者が要介護状態になっても、できる限り自宅で自立した日常生活が送れるよう、本当に必要なサービスを総合的に提供するため、自己責任の原則と、社会的連帯の精神に基づき、平成12年4月に施行され、予防重視型システムへの転換等への見直しが図られながら現在に至っており、40歳以上の国民全体で公平に制度を支えています。

壬生町では、介護認定を受けた高齢者に対する介護保険サービスの充実だけでなく、高齢者が要介護状態にならないよう、一体的な保健福祉サービスに力を入れ、継続した施策を推進していくための計画を策定します。

## 計画の期間

○平成21年度から平成23年度までの3カ年における計画

第3期高齢者保健福祉計画（平成18年度～平成20年度）を踏襲しつつ、壬生町の現状に即した計画を策定します。

## 計画策定の方法

計画策定にあたっては「被保険者代表・学識経験者・保健医療関係者・福祉関係者」などから構成される『壬生町老人保健福祉計画及び介護保険事業計画作成委員会』を設置し、各委員の意見を広く聴取し、計画の審議策定を行いました。

また、今回、パブリック・コメント制度を活用して、広く町民の皆さまの意見等を募集し、町政参加の機会の拡充を図りながら、最終案を決定するものです。

## 計画の構成

- 第1章 計画策定の趣旨
- 第2章 高齢者等の状況
- 第3章 計画の基本理念と課題等
- 第4章 介護保険給付サービスの充実
- 第5章 地域支援事業の充実
- 第6章 高齢者保健福祉施策の充実
- 第7章 生きがいづくり活動の推進
- 第8章 計画の推進体制
- 資料編



# 壬生町建築物耐震改修促進計画(素案) に対してご意見をお聞かせください

## 1 目的

地震による建築物の倒壊等の被害から住民の生活と暮らしの安全・安心を確保することを目的として、建築物の耐震診断及び耐震改修等を促進する壬生町建築物耐震改修促進計画(素案)を策定しました。

素案では、町内における耐震化の現状や想定される地震の規模・被害に関する予測結果を踏まえ、耐震診断・耐震改修の目標を設定するとともに、今後の促進施策を掲げています。

## 2 計画素案の公表方法(下記の場所でご覧いただけます)

- (1) 町建設部都市計画課
  - (2) 公民館(壬生中央公民館・稲葉地区公民館・南犬飼地区公民館)
  - (3) 町ホームページ(<http://www.town.mibu.tochigi.jp>)
- (注1) (1)(2)につきましては、執務時間中の閲覧となります。

## 3 募集期間

平成20年12月24日(水)から平成21年1月23日(金)まで

## 4 意見の提出方法

備え付けの記入用紙(町ホームページ及び上記公表施設に設置)に具体的なご意見を簡潔に記載し、次のいずれかの方法で提出してください。いずれの場合も、宛先は「**壬生町建設部都市計画課**」宛でお願いいたします。

- (1) 郵送(〒321-0292壬生町通町12-22)
  - (2) FAX(82-8252)
  - (3) 電子メール([kensetsu@town.mibu.tochigi.jp](mailto:kensetsu@town.mibu.tochigi.jp))
- (注2) 電話による受付はいたしませんのでご了承ください。

## 5 意見の取り扱い

提出されましたご意見の概要と、検討結果につきましては、「町広報紙」及び「町ホームページ」上に公開いたします。

- (注3) ご意見をいただいた方の氏名等の公表、及びご意見に対する個別の回答はいたしません。  
(注4) ご意見の内容が類似する場合は、取りまとめて公表する場合があります。

## 6 問い合わせ及び意見の提出先



〒321-0292 下都賀郡壬生町通町12番22号

壬生町 建設部 都市計画課

☎81-1853 FAX 82-8252

E-mail ✉ [kensetsu@town.mibu.tochigi.jp](mailto:kensetsu@town.mibu.tochigi.jp)

# 壬生町消防団通常点検

## 火のしまっ 君がしないで 誰がする!

壬生町消防団（鈴木正美団長・団員203名）による壬生町消防団通常点検が11月23日、町総合運動場で実施されました。

消防関係殉職者に対し黙祷を捧げた後、佐藤勉国家公安委員長をはじめとする多数のご来賓臨席の元、人員並びに服装点検、機械器具点検、ポンプ操法及び放水点検が実施されました。

点検の後、清水英世町長より、「栃木県消防操法大会に出場したこともあり、非常に見事な点検でありました。本日の点検を拝し、4万町民の負託に対し十分に心えられることを確信し、頼もしく思います。」と訓示があり、続いて、栃木県消防操法大会出場者、退団者、消防業務協力者などの表彰が行われました。

その後、蘭学通りに場所を移し多くの人が見守る中、石橋地区消防組合の職員による救急救助訓練が行われ、続けて、消防団員、消防職員等による分列行進が行われました。分列行進の先頭では、やすづか保育園の園児たちが火災予防ののびりを掲げ「火の用心」の声を発しながら歩き、火災予防を呼びかけました。

### 表彰者（敬称略）

#### 栃木県消防協会会長表彰

- ◎勤続章10年
  - 第二分団分団長 岡部 豊作
  - 第三分団分団長 河野邊喜信
  - 第三分団第五部団員 梅山 敏昭

#### 栃木県消防協会下都賀支部長表彰

#### ◎功労章 栃木県ポンプ車操法の部

- 主 将 杉山 隆宏
- 指揮者 大垣 恭宏

#### 栃木県小型ポンプ操法の部

- 主 将 前原 利光
- 指揮者 伊沢 和隆
- 一番員 室井 貴之
- 二番員 戸崎 悟
- 三番員 田中 久
- 補助員 戸崎 健二

#### ◎功績章8年

- 第一分団第一一部団員 柏崎 昇
- 第三分団第一一部団員 鈴木 隆介
- 第三分団第一一部団員 大垣 恭宏

#### ◎勤続5年

- 第二分団副分団長 鈴木 宏幸
- 第三分団副分団長 大垣 良幸
- 第二分団第三部部长 落合 司
- 第三分団第二部部长 高橋 真祐
- 第三分団第三部部长 瓦井 司
- 第二分団第三部部长 赤羽根芳文
- 第三分団第五部部长 野口 恵司
- 第一分団第一一部団員 吉村 昌記
- 第一分団第二一部団員 日永 正太
- 第一分団第三一部団員 寺内 元唯
- 第一分団第四一部団員 岡 裕己
- 第一分団第四一部団員 伊藤 立也
- 第一分団第四一部団員 山川 寛之
- 第二分団第一一部団員 入江 稔
- 第二分団第一一部団員 賀長 紀好
- 第二分団第二一部団員 宮口 敬信
- 第二分団第二一部団員 塚越 英樹
- 第二分団第二一部団員 後藤 伸久
- 第二分団第三一部団員 篠原 直樹
- 第二分団第三一部団員 落合 芳幸
- 第三分団第一一部団員 大久保吉良展よしのぶ
- 第三分団第二一部団員 大塚 正人
- 第三分団第二一部団員 大垣 勝行

#### ◎優良部

- 石橋地区消防団連絡協議会長表彰
- 第一分団第五部
- 第三分団第一部

#### 壬生町長表彰

- ◎勤続章10年
  - 第二分団分団長 岡部 豊作
  - 第三分団分団長 河野邊喜信
  - 第三分団第五部団員 梅山 敏昭
- ◎勤続章5年
  - 栃木県消防協会下都賀支部長表彰

#### ◎優良部

- 消防ポンプ自動車の部
  - 第一分団第一部
  - 第三分団第一部
  - 第一分団第五部
  - 第二分団第五部
- ◎努力部
  - 消防ポンプ自動車の部
    - 第二分団第一部
    - 小型動力ポンプの部
      - 第一分団第三部



清水町長による服装点検

#### 感謝状贈呈

- ◎平成19年度退団者
  - 小藤 清 他41名
- ◎消防業務協力者
  - 有限会社へいせい堂
- ◎内助の功表彰
  - 分団長 岡部 豊作 令夫人 咲江
  - 分団長 河野邊喜信 令夫人 広子
  - 団員 梅山 敏昭 令夫人 美佐子



分列行進の様子



役場駐車場での消防フェア（分列行進後）

# まちのわだい



## 県青年農業者海外研修事業に参加



落合さんと清水町長

10月27日、9月29日から10月7日までの9日間にあたって実施された、栃木県青年農業者海外研修に、本町から落合政夫さん（北原）が参加し、その報告のため町長室を訪れました。

この研修は、集約型農業実践農家及び環境保全型農業実践農家視察、行政・農業研究・教育機関等の視察、安全で良質な農産物の生産流通システムを視察し、今後の農業経営に活かしていくもので、今回はイタリア・オランダ・フランスを訪問し、大規模トマト生産農家や市場、流通状況等を視察しました。

## いきいきふれあい活動藤井小円遊会

11月5日、藤井小学校の体育館において、「いきいきふれあい活動 藤井小円遊会」が行われました。

これは、地域の高齢者と児童が世代間交流をとおして、みんなが顔見知りになり、協力、連携し安全・安心な地域づくりの推進を目的に社会福祉協議会と藤井小学校の共催で行われているもので、今年で三回目となります。今年も昨年と同様に地域の高齢者の方と日頃スクールガードや読み聞かせなどでお世話になっている学校ボランティアの方が招待されました。

倉田校長先生や社会福祉協議会の神永榮会長のあいさつのもと、学年ごとの運動会ダンスや合唱、演劇、ファッションショー、全校児童による合奏を披露しました。子どもたちはこの日のために練習を重ね、招待されたお年寄りの方たちも大きな拍手で応援していました。



全校児童による合唱を披露

## メリーランドでシイタケ狩り



原木に生えたシイタケに園児たちは興味津々

11月5日、メリーランド保育園で町内の昆虫愛好家の団体である壬生ファール会（大島菊夫代表）の協力により、シイタケ狩りを行いました。

保育園の敷地にある「ぼうけんの森」の中に、シイタケがたくさん生えている原木や菌生きんせいのシイタケを100個以上も並べました。大島代表からシイタケの取り方の説明を聞き、3歳以上の園児たちは地元老人会のお年寄りの方たちと一緒に、食べ頃になった大きなしいたけを収穫しました。そして園庭でオガクズの中で動いているカブトムシの幼虫を観察しましたが、中には素手でつかんで見せる男の子もいました。

講堂に入って、スライドでカブトムシが卵から幼虫、さなぎ、成虫になるまでの説明を受け、お昼の給食では、スタッフの人たちが作ってくれたキノコのみそ汁とこのバター焼きをメニューに加え、お年寄りの方たちとおかわりをしていただきました。



## 「おやこの食育教室」

### 壬生町食生活改善推進員（ヘルスマイト）が開催

11月6日、しもだい保育園年長組の親子の皆さんを対象に「食育教室」を開催しました。

ヘルスマイトさんから、毎日の食事が大切だというお話を聞いた後、おやこペアのバンダナをつけて、ソーめんチャンプルーと、りんごとプルーンの甘煮を実習しました。参加された保護者の方は「家では、親子でクッキングすることがないので、子どもと共によい時間を過ごすことができました。」子どもたちも、「楽しかった。家でも作りたい。」と喜んでいました。



親子でクッキングに挑戦

## 壬生高生 近隣の市町で職場体験



11月7日から11月9日までの3日間、近隣の市町で壬生高校の職場体験学習が行われました。

これは、職場体験を通じて、職業に対する理解と認識を深め、働くことの厳しさなどを知るために行われたもので、近隣の市町で職場体験学習を行った生徒は、この3日間を通して上下関係の厳しさや自らの高校生活を改善するきっかけとなりました。

いずみ書房で職場体験学習をした生徒は、本の整理や掃除などを体験し、おもちゃ博物館で学習した生徒は、おもちゃの解体や庭の掃除などを行い、生徒たちは社会のルールや仕組みを肌で体験し3日間の職場体験学習は終了しました。



## 防衛手段を正しく身に付ける 安全教室

11月7日、壬生北小学校において防犯に関する安全教室が行われました。

これは、児童に防犯知識や防衛手段を正しく身に付けさせるために行われたもので、栃木警察署交通安全課の方による、知らない人に誘われたり、声をかけられたりしたときの対応の仕方や防犯ブザーの使い方等についての講話、壬生地区の地域少年指導員の実演による、生徒参加型の実際の場面での有効な撃退法や注意事項についての指導が行われました。

実演を体験した生徒は、指導員の迫真の演技に戸惑いながらも危機的状況をうまく対処していました。

もし実際にこのような場面に遭遇した場合まず第一に警察へ連絡することが重要です。



体験型の防犯指導の様子

# まちのわだい



## 「児童館まつり」に伊藤けん玉師が来館



伊藤けん玉師によるけん玉教室も行われました

熱中し、大人は昔を懐かしみ、子どもは、新鮮味を味わいながら、伊藤けん玉師の指導を受けながら、最後にみんなで認定試験を受けました。

11月8日、壬生町児童館で、けん玉師伊藤佑介氏を招き、「児童館まつり」が開催されました。

伊藤佑介氏は、7歳でけん玉を始めて、通算で10度のけん玉全日本大会での優勝や、ギネス記録の認定を受け、世界初のプロのけん玉師として活動されています。

当日は、児童館開館20周年ということもあり、副町長をはじめ、歴代の運営委員長や母親クラブ会長等の関係者と子どもたち60人を前に、見事なけん玉のパフォーマンスショーとけん玉教室でたいへん盛り上がりしました。

けん玉教室では、大人から子どもまでが、けん玉に

## 第12回おもちゃフェスティバル開催

11月9日、おもちゃ博物館で「第12回おもちゃフェスティバル」が開催されました。

「Yes! プリキュア5 GO GO!」のキャラクターショーでは、小さな女の子連れの家族で会場はいっぱいになり、ショーの最後にはプリキュアたちと一緒にダンスを踊りました。

その後、博物館前の噴水広場でプリキュアとのサイン会・握手会が行われ、らく焼コーナーやファファ、模擬店も大勢の親子連れで賑わいました。



プリキュアたちと一緒にダンス♪

## ふれあいレクリエーション大会を開催 上町自治会



11月9日、上稲葉上町自治会（小菅通会長）では、お年寄りの方と子どもたちとのふれあいのできる機会にと、松寿会・子ども育成会の協力により「お年寄り・子どもとのふれあいレクリエーション大会」を開催しました。

競技種目は、怪我のないものと、「紅白玉入れ」「スプーンお団子運びリレー」「幸運宝探し」「紅白多いのはどっち?」「風船リレー」をお子さんと競争、競演して最後にかんぴょう音頭を全員で踊りました。

競技に出場したをお年寄りの方は、孫の手を取りながらまた、子どもたちは、お年寄りを労りながら、楽しくプログラムを和気あいあいとこなしていました。

## 第15回睦地区コミュニティ文化祭開催

11月9日、睦地区コミュニティセンターにおいて睦地区のコミュニティ文化祭が開催されました。

これは睦地区の文化・芸術活動へ対する意欲の向上とともに会員相互の親交・理解を深めることを目的に毎年開催されているもので、今回で15回目となります。

会員の方による「一筆啓上」やコミュニティ活動で制作した作品の展示、「民話と伝説」の語りとして下野民話館を拠点に伝承活動中の島田トヨ子先生による講演会のほか、9月に行われた「第10回花いっぱいコンクール」の表彰式も行われました。

また、栃木銀行駐車場において花き販売や焼きいもの無料配布、うどん・おでんの模擬店が出店し、来場者で賑わいました。



会員の力作を展示

## 車いすバスケットボールを元気に体験！！



11月10日、壬生東小学校において障がい者の方やボランティア活動への理解を深めてもらおうと、町社会福祉協議会による「車いすバスケットボール交流事業」が実施されました。

この事業は、県車いすバスケットボール連盟（佐々木清美会長）の協力を得て行われ、6年生の2クラス54名が参加し6,7名ずつの8チームに分かれてミニ試合をし、元気にプレーを楽しみました。児童たちはミニ試合とともに、実際に車いすで生活している人から講話を聞き、多くのことを学ぶ機会になりました。

## 古代米の収穫 稲葉小学校・メリーランド保育園

11月11日、下稲葉地内の水田で稲葉小学校の児童とメリーランド保育園の園児たちが古代米の収穫をしました。

5月に自分たちが田植えした古代米も自身の背丈を越えるほどになっていました。稲葉小の6年生たち19人は、のこぎり鎌を使って稲刈りを手際よくあっという間に終え、メリーランドの園児たちは、先生やマイチャレンジ体験活動中の壬生中のお兄さんたちに手を添えてもらって、一株ずつ慎重に刈り取っていきました。続いて刈り取った稲束を脱穀機で籾を落とす作業を体験しました。

脱穀機の前には、殻を剥くと真っ黒な古代米がいっぱいになりました。この古代米は、もちの材料として学校や保育園の行事に使ってもらう予定です。



脱穀機で籾を落とす作業を体験

# まちのわだい



## 安塚小学校で「ひいらぎ集会」開催



11月12日、安塚小学校で「ひいらぎ集会」が行なわれました。これは集会活動を通して学年の違う児童たちが楽しく仲間づくりをし、お互いを思いやる心を育て、地域の人々とふれあおうというものです。開会行事では、安塚小合唱部の発表があり、保護者や地域の方々は熱心に聞き入っていました。

開会行事の後、1～6年生の縦割り班ごとにさまざまな活動が行なわれ、児童達は、アウトドアクッキング、カーリング、ピロピロ、スポーツチャンバラ、そば作り、お菓子作り、お茶作り、バルーンアート、木工クラフト、科学あそび、グラスアート、はにわ作り、パソコンを使ったアニメ作成などの活動を、たくさんのボランティア

の方々に世話になりながら笑顔いっぱい楽しみました。その中では、高学年の児童が低学年の児童に教えている姿や、お互いに助け合っている姿もたくさん見られました。

## 睦小学校でサイエンスショー開催

11月14日、睦小学校においてサイエンスショーが開催されました。

これは、関東経済産業局主催による「平成20年度知的財産教育支援セミナー」事業として開催されたものです。

当日は、社団法人発明協会の担当者とポピュラーサイエンス研究所の北沢代表が来校し、5・6年生児童に様々な科学実験ショーを披露しました。

身近なものを使った、静電気の実験・風や空気を利用した実験などが行われると、子どもたちは歓声を上げて驚いていました。また、ワークショップでは、「ブーブー笛」づくりを体験し、音の出方を調整工夫しながら熱心に取り組みました。

楽しい実験工作を通して、科学的な思考を高めるとともに、児童たちにとって発明発見への関心を高める契機となりました。



## 栄町自治会で救命講習会



11月17日の夜、栄町自治会で、松本内科医院院長と石橋消防本部の協力により救命救急講習会を開催しました。

この日、栄町公会堂に集まった36人の参加者たちは、まず松本先生と消防本部の救命救急係長から、救命救急の現状として、講習会の参加者が全国で150万人を超え、今年6月の秋葉原無差別殺傷事件でも市民が積極的にけが人の手当てを行っており、救命の輪が広がっている旨の説明を受けました。

その後、4体の人形の周りに分散して座り、消防署署員の指導により、人工呼吸・心肺蘇生法・AED(自動体外式除細動器)装着までの手順の講習を受け、傷病者を発見

→反応調べ助けを呼ぶ→気道の確保→人工呼吸→胸骨圧迫30回→AED装着・操作方法までを人形を使って全員が体験しました。

人形に空気が入っていない、マッサージのペースが速すぎるなど同じ班の人の助言やかけ声を受け、和やかな雰囲気の中にもそれぞれが真剣に講習を受けていました。

## 壬生町農業施策並びに平成21年度予算に関する 要望書を提出

壬生町農業委員会（松井晴夫会長）は、11月19日、町長室を訪れ、壬生町農業施策並びに平成21年度予算に関する要望書を提出しました。

農業委員会では、農業者が夢と希望を持って意欲的・積極的に農業生産と地域の活性化に取り組めるよう、「ふれあいとうるおいに満ちた農村づくりをめざした支援」など、8項目について要望しました。

また、町並びに町教育委員会に対し、学校給食でのさらなる米飯給食の回数増加や、米粉パンの使用、地域の野菜等を使用した「地産地消」の推進を要請しました。



## 睦小学校で地産地消バイキング会食会



みんなで給食を楽しみました

11月19日、睦小学校において、壬生町内でとれたゴボウを使ったバイキング形式の給食が行なわれ、JAしもつけや町・教育委員会の職員が6年生の児童と一緒に給食を食べ、交流しました。

これは、「地元で作られている食材への興味関心や生産者への感謝の気持ちを持たせる」という地産地消活動の一環として、町内のゴボウ生産者やJAしもつけの協力のもと実施されたものです。

給食は、山菜おこわ、ゴボウの肉巻き、ゴボウの手作りサラダ、ゴボウのフリッターといった地元産のゴボウを使った料理を中心に様々なメニューがバイキング形式で出され、児童たちは普段とは違う給食に大喜びで、何回もおかわりしていました。

地元産のおいしいゴボウに、児童たちは生産者の皆さんへの感謝の気持ちを新たにしていました。

## 福和田で芋煮会開催

11月30日、福和田地内において、福和田花壇管理組合（大橋良平代表）主催の「第8回福和田芋煮会」が開催されました。

当日は、山形風のいも煮のほか、多数の各種模擬店が出店し、カラオケ大会や抽選会、野菜・お米・牛乳の無料配布も行われました。

当日は、初冬の晴天と澄んだ空気のなか、多くの家族連れが訪れ、温かいいも煮を味わい、楽しいひとときを過ごしていました。



# スポーツ

## 平成20年度町内対抗野球大会

10/26、11/2、11/9  
町総合運動場

参加チーム 12チーム

### 【成績】

優勝 羽生田  
準優勝 至宝南  
第3位 安塚二  
上長田

### 【試合成績】

決勝戦 羽生田6×0至宝南



羽生田チームのみなさん

## 第9回壬生町親善交流ゴルフ大会

(11月26日栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部6チーム参加)

### 成績

団体ネットの部	グロス	ネット
優勝 壬生町建設業組合	518	448.6
準優勝 壬生ゴルフパーク	530	450.4
団体グロスの部	スコア	
優勝 藤井ゴルフ愛好会	490	
準優勝 チーム花見ヶ丘	492	
個人ネットの部	グロス	ネット
優勝 森田 眞司	92	68.0
準優勝 粕尾 庄治	93	69.0
第3位 中田 和夫	81	69.0
個人グロスの部	スコア	
優勝 高橋 正義	77	
準優勝 鈴木 拓男	77	
第3位 村山 仁	77	

## 25th MIBU バドミントン大会

11月9日

町総合運動場体育館  
58名参加

### 成績

- 男子ダブルスA  
優勝 上野・田中(信)組  
準優勝 矢板・田中(久)組
- 男子ダブルスB  
優勝 佐藤・種沢組  
準優勝 中山・石橋組
- 女子ダブルスA  
優勝 笹井・岩本組  
準優勝 中川・飯田組
- 女子ダブルスB  
優勝 赤羽根・葭葉組  
準優勝 若林・二井組
- ジュニアダブルス  
優勝 織田・大垣組



優勝者のみなさん

## 第6回みぶっ子ドッジボール大会

10月26日(日)に第6回みぶっ子ドッジボール大会(主催：壬生町子ども会育成会連絡協議会・壬生町教育委員会)が、町体育館で開催され、小学年の部(小学校1〜3年生)15チーム173名、上学年の部(小学校4〜6年生)14チーム165名、延べ32チーム338名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

大会は、それぞれの部で4つのブロックにわかれて予選リーグを行い、それぞれのブロックの優勝チームが、決勝トーナメントを戦いました。どの試合も手に汗握る攻防戦が繰り広げられ、競技する子どもたちのみならず、応援する保護者のみなさんも一緒に盛り上がり、会場は大いに盛り上がりました。

.....【試合結果】※( )内は育成会名 .....

### ●小学年の部

- 優勝 睦Bチーム  
(睦北部、緑町二丁目、いずみ)
- 準優勝 リトルファイターズ  
(県営壬生住宅、東下台)
- 第3位 睦Cチーム  
(おもちゃのまち、幸町一丁目、幸町三丁目)
- 第4位 はやぶさ2号(至宝南)



睦Bチームのみなさん

### ●上学年の部

- 優勝 東小A  
(落合・本田、睦中央)
- 準優勝 ブルードラゴン  
(城内、上通町)
- 第3位 ビッグファイターズ  
(県営住宅、東下台)
- 第4位 藤井(藤井)



東小Aのみなさん

# みんなの広場



田中廉ちゃん(H19.12.11生)  
(下台団地)



大友樹莉ちゃん(H19.12.11生)  
(至宝町南)

今回は2月生まれのアイドルを募集します。(締切1月20日)写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接或は郵便で〒321-0292 壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

Eメールの場合は上記必要事項を記入し、企画財政課情報広報係宛 (info@town.mibu.tochigi.jp) へメールしてください。



中郷美希ちゃん  
(H19.12.28生)  
(下表町)



小森貴弘ちゃん  
(H19.12.3生)  
(六美町中央)



和田珠侑ちゃん  
(H18.12.2生)  
(城内)

慶應4年(1868)安塚の戦いの時、壬生城周辺の戦闘が熾烈となり、土佐藩(官軍・隊長板垣退助)にも戦死者5名、負傷者19名を出し、土佐藩の従軍医弘田親厚は壬生城二の丸内に野戦病院を開設し治療に当たりました。同年4月24日には傷兵が続出したため「銃創看病人として、この地の婦人9人を雇い入れ、養生局へ差し置ける」として女性の看護人(「看護婦」)を採用しました。これは国内初の看護婦の実例となり、これまで国内初の看護婦を採用したのは、同年閏4月17日の横浜軍陣病院(院長、イギリス人ウイリアム・ウイリス)とされていましたが、壬生城内の出来事は約1ヶ月ほど早まることになりました。

## 第四章 軍陣医学と戊辰戦争—安塚の戦い 2. 壬生城内 土佐藩野戦病院と女性看護人の採用

### 歴史民俗資料館だよりのシリーズⅣ 〈医療の歴史〉にみる壬生



〈弘田親厚肖像〉

土佐藩病院頭取。親厚は天保2年(1831)に生まれ(天保3年説あり)、嘉永3年(1850)適塾、翌年華岡流外科の合水堂入門。そして安政3年(1856)土佐藩医となる。戊辰戦争における従軍医としての活躍は、「女性看護人の採用」と「クロホルム麻酔の使用」は、目に見張るものがある。なお、この事実は親厚が残した従軍記「慶應4年戊辰 会津征討日記 武の巻」に記されている。

問合せ先

歴史民俗資料館  
☎ 82-8544

# 子育てサロンに来てみませんか？

子どもと子育てをする人を応援するサロンです。子どもと一緒に遊んだり、のんびり過ごしたり、同じ年頃の仲間づくりや情報交換の場です。子育てにちょっと疲れたときなども、ぐっすりお越し下さい。

**気軽に** 身近な地域で行われる、参加者の出入りが自由で、気軽に参加しやすい、開かれた雰囲気での活動です。

**楽しく** 子育ての不安を取り除くとともに、それぞれの興味や関心に基づいた楽しい活動です。

**自由に** 必ずしも「こうしなければならぬ」という決まりにしばられず、そのときどきの状況に応じ話し合いながら自由に行う活動です。

## おひさま倶楽部

下表町公民館

毎月第2・第4木曜日13時〜15時

問合せ先

☎0900-933933-6323 (もりしま)



## こいのサロン

安塚地区コミュニティセンター

毎月第1・第3金曜日10時〜12時

問合せ先

☎0900-91500-1830 (なかむら)



## 【寄付】

### ◆社会福祉協議会へ

(○)数字は寄付回数

- JAしもつけ壬生地区営農経済センター様⑧ 1万1千690円
- 壬生町シルバー人材センター 3千円
- 盆栽愛好会様⑦ 1千円
- 壬生町シルバー人材センター 1千円
- 小物作り愛好会様① 1千円
- 壬生町商工会 (壬生町総合産業まつり実行委員会) 様⑫ 1万4千73円
- 墨絵クラブ様⑬ 1万円
- 壬生町たばこ販売組合様⑥ 7千86円
- ダンス木曜会様⑳ 6千円
- 壬生町ライオンズクラブ様⑰ 3万円
- 栃木県法人会壬生地区会様⑤ 3万1千500円



ペンギン貯金箱



藤井小 5年 武関 紗也



### ◆町へ

11月20日、協業産業株式会社(古澤栄一社長)様から、まちづくりに役立てて欲しいと、50万円の寄付がありました。



古澤社長

清水町長

まちのうごき	
12月1日現在	
総人口	39,921 人 ( 18 )
男	19,589 人 ( 1 )
女	20,332 人 ( 17 )
世帯数	14,143 世帯 ( 21 )
	( )内は前月比

1月の納税等	
●町県民税	(4期)
●国民健康保険税	(7期)
●介護保険料	(7期)
●後期高齢者医療保険料(7期)	(7期)
納期限	2月2日



藤井小 5年 寺内 紳悟



絵画「コンピューターアパート」